

学校図書館支援センターだより

新居浜市教育委員会学校教育課
新居浜市一宮町一丁目5番1号
TEL (0897)65-1301



2026年・第80回読書週間

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

それから80年、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。



ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使いであり、代表的なポリスで文化の中心地アテナの聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたといいます。

森の奥深く、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、使用しています。

標語について

「静かだけど、冒険中。」

「船倉 菜々子」さん 作者の言葉

ページをめくる時、傍目には静かに見えても、心はふっと遠くへ旅に出ていろんな体験や感情に出会っています。

そんな静かな没入感と、想像力による内面の動きが同居しているおもしろさを、ことばにしてみました。



2026・第80回 読書週間

10/27~11/9



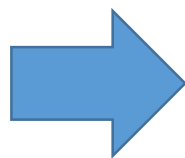
静かだけど、冒険中。



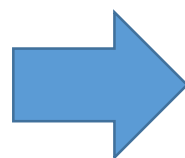
中学校図書館の整備

学校図書館支援センターでは、夏季休業中に中学校10校の図書館整備をしました。小学校と同様に蔵書をデータ管理するための廃棄図書の選別と、利用しやすい図書館を目指して書架の整理を行いました。市教委からは学校司書8名とセンター長が担当校に出向き、整備していきました。各中学校では、校長、教頭をはじめ図書館主任や先生方が力を貸してくださいました。どの学校も、見違えるような図書館になっています。生徒が希望する図書館の姿に近づきました。

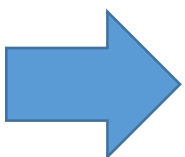
東中



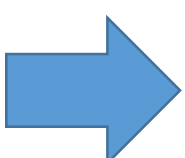
西中



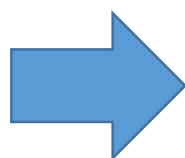
南中



北中



川東中



残り5校は、次号でお知らせします。この夏の整備で、記載内容が変更になっているもの(国名や職業の表記)や以前の指導要領に即したものの等を廃棄しました。

反対に、時代は変わっても大切にしたい書籍はあります。美術書や大漢和字典等も中学校の図書館にはあります。それらの本は、特別教室や書庫に移管しました。各校で大切に保管してもらいたい書籍です。

整備された図書館を生徒の皆さんにもどんどん利用してほしいです。